		【資料:
	第2回高知市地域アクションプランフォ :	ローアップ会議資 平成 29 年 2 月 8
		十成 23 平 2 万 0
<b>平</b> 成 29 年度高知市地域アクションプランの追加、	削除、拡充等(予定項目)	について

# 高知市地域アクションプラン項目(第3期計画(H28年度)と第

No.	平成28年度	
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興	
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興	
3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興	
4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興	
5	ナシ産地の生産安定及びブランド強化	
6	時代のニーズに対応できる米産地の振興	
7	新ショウガの生産振興	
8	ユズを核とした中山間農業の活性化	
9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興	
10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興	
11	直販店を核とした鏡地域の活性化	
12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大	
13	伝統作物の復活と関連産業の振興	
14	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出	
15	生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出	
16	森の工場の拡大による原木の増産	
17	県産材を使った安心・安全な木造住宅の普及促進	
18	春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上	
19	竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出	
20	防災食の開発・製造・販売	
21	「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売	①削除
22	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上	
23	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化	
24	近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進	
25	本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展	
26	温泉開発による観光地としての魅力の向上	
27	浦戸湾を活用した観光の振興	
28	土佐の偉人を活かした観光の振興	
29	食による観光の推進	
30	県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実	

# 3期計画Ver.2 (H29年度)の対比表)

	No.	平成29年度
-	1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
-	2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
	3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興
	4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興
	5	ナシ産地の生産安定及びブランド強化
	6	時代のニーズに対応できる米産地の振興
	7	新ショウガの生産振興
	8	ユズを核とした中山間農業の活性化
	9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
	10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
	11	直販店を核とした鏡地域の活性化
	12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大
	13	伝統作物の復活と関連産業の振興
	14	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
	15	生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
	16	森の工場の拡大による原木の増産
	17	県産材を使った安心・安全な木造住宅の普及促進
①追加	<b>1</b> 8	イタドリの外商推進による中山間地域の振興
	19	春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
	20	竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出
-	21	防災食の開発・製造・販売
	22	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
-	23	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
	24	近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
	25	本家よさこいのブランドカ確立とよさこい文化の継承・発展
	26	温泉開発による観光地としての魅力の向上
-	27	浦戸湾を活用した観光の振興
	28	土佐の偉人を活かした観光の振興
	29	食による観光の推進
	30	県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

# 高知市地域アクションプランの追加・削除・拡充等 (予定項目)

#### ■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
	イタドリの外商推進による中山間地域の振	出荷量において全国一であり一般的に県内で食
	興(高知市)	されているイタドリを県外に販売拡大していくた
	【事業主体】高知県食品工業団地事業協同	め、イタドリの加工・外商体制を構築・強化する
	組合、連携農家	ことにより、「高知県産イタドリ」ブランドの確立
1		に取り組む。
'		また、イタドリの生産力を高めるため、イタド
		リを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを
		活用して栽培面積を広げるとともに、一次加工を
		行うことにより、中山間地域における新たな雇用
		の創出及び拡大を図る。

# ■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
	No. 21 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚	当該事業主体は、これまで鮮魚の加工・販売事
	を活用した食品の製造・販売(高知市)	業を進めてきたが、当面は需要の高い鮮魚の卸・
	【事業主体】(株)かつら	流通に重点を置いた取り組みに移行し、加工・販
		売事業を休止することとしたため、地域アクショ
1		ンプランから削除する。
		なお今後、原魚や簡易な加工品の外商に取り組
		んでいく中で、食品加工・販売分野における新た
		なニーズを掘り起こし、事業戦略を再構築する予
		定である。

# ■その他(拡充) なし

#### 有望素材シート(29年度)(案)

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

Ī	市町村名	高知市	素材名	イタドリ
	1,7-717-12	IDI VII II	関連素材	山菜

#### <現状>

〇高知県食品工業団地事業協同組合は、従前よりイタドリが持つ機能性に着目し、イタドリを今後の有望農産物として原料確保及び商品

同発に関する取り組みを進めてきている。 〇高知県においてイタドリは、全国トップレベルの年間出荷量を誇っているが、主に天然採取であり生産者の顔が見えずトレーサビリティが担保されていないこと等から外商は活発ではない。県内においてはイタドリ栽培が普及していないのが現状であるが、高知市中山 間部の鏡地域においてはこれまでイタドリを栽培してきた実績があり、加工品(しゃくしゃく漬)等を地域の直販店などに年間2トンほ 状 ど販売してきている。

〇このたび、イタドリの栽培実績がある鏡地域の生産者と高知県食品工業団地事業協同組合が連携し、同地域のイタドリを用いた加工品を共同開発し、平成29年2月のスーパーマーケット・トレードショーに出展する予定としており、今後は同組合を中心にイタドリの外商 題 に取り組んでいく方針としている。

#### <課題>

今後、高知県食品工業団地事業協同組合によるイタドリ加工品の商品開発や販促活動を強く進めていくためにも、高知市鏡地域を中心に 安定的かつ充実した原料の供給体制を整えていくことが必要になる

〇イタドリ栽培地の不足 〇マンパワーの不足 〇生産・一次加工体制が脆弱

①耕作放棄地等を活用した、新たなイタドリの圃場確保による生産規模の拡大。

②新たな担い手の雇用。

③鏡地域全域を巻き込んだイタドリの生産・加工に係る連携体制を構築し、供給力の底上げを図る。

④イタドリ加工品の外商の推進によるブランド化の促進。 の

⑤高知県食品工業団地事業協同組合と高知市鏡地域の生産者等による推進組織の結成。

向性 ⑥高知市鏡地域を中心とする取り組みをモデルとして県内各地の中山間地域に産地を拡大させ、「高知県産イタドリ」ブランドとしてさ らなる外商の強化を目指す。

#### 「有望素材」を活かした具体的な取り組み (案)

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案 取り組み名 イタドリの外商推進による イタドリの外商推進による中山間地域の振興 項目 関係市町村名 高知市

出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタドリを県外に販売拡大していくため、イタドリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタドリ」ブランドの確立に取り組む。 また、イタドリの生産力を高めるため、イタドリを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を拡げるとともに、また、イタドリの生産力を高めるため、イタドリを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を拡げるとともに、

-次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。

#### 【事業主体】

の 概

高知県食品工業団地事業協同組合、連携農家

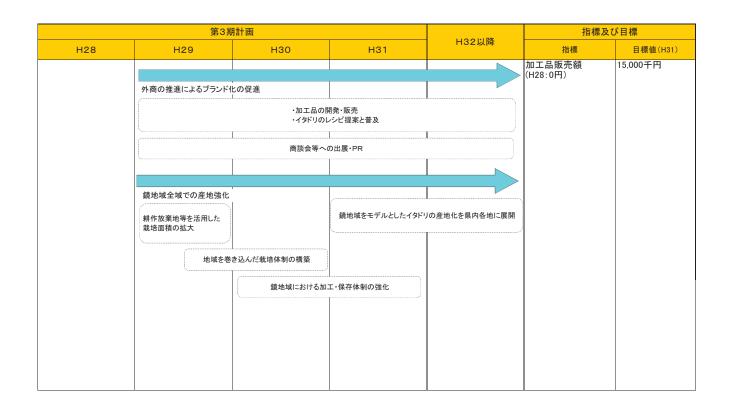
主 【関係機関】

等	高知市農業協同組合鏡支所園芸部特作部会、鏡村直販店, Ј А 高知市鏡支所女性部						
	取組手順	事業実施 【H29】	1年後 【H30】	2年後 【H31】	3年後 【H32】	4年後 【H33以降】	
	外商の推進によるブ ランド化の促進						
	プンドルの促進	・加工品の開発・販売				\	
主な		・イタドリのレシピ提案と普及					
内				-	-		
容		・商談会等への出展・PR				V	
ス	A						
ケジ	鏡地域全域での産地 強化						
그		・耕作放棄地等を活用した栽培 面積の拡大		・鏡地域をモデルとし、イタドリの	の産地化を県内各地に展開		
ル		回視の拡入	\				
		・地域を巻き込	んだ栽培体制の構築				
			・鏡地域における加工・保存体	は制の強化			
	項目	事業実施 【H29】	1年後 【H30】	2年後 【H31】	3年後 【H32】	4年後 【H33以降】	
指標	加工品販売額	5,000千円	10,000千円	15,000千円	20,000千円	25,000千円	
1示	【設定根拠】	【推計の考え方】		i	λ	i	
目標		H29年度:年間で仕入価格 H30年度以降:産地強化を	1,000円/kg(見込)を3,00 図りながら、生産量を拡大	OOkg程買い取りと仮定し、 するとともに、市場の動向	それを元に加工品販売額を ]に応じて高付加価値で販売	試算。 言を行っていく。	

総事	総事業費 (内訳 国:	千円 県 :	(うち29年度 市町村:	千円)	その他:	)
	想定する支援事業 国:	(補助金名称、人的支援 <i>の</i>	)内容、その他) 県:			人的支援:
等	その他:					
備考						

# 追加項目(案)

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 イタドリの外商推進による 中山間地域の振興 《高知市》	出荷量において全国一であり一般的に県内がに販売加工を含されているイタドリを県外に販売加工をでいたが、イタドリの側が開発・強化タドリの内で食品では、一次のでは、高値では、一次のイタドリのでは、一次のイタドリのでは、一次のイグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインでは、イグ・サインを含まれば、イグ・サインでは、イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・インを含まれないが、イグ・サインが、イグ・イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・イグ・サインが、イグ・サインが、イグ・イグ・イグ・イグ・インが、イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イグ・イ	地事業協同組合	アクションブランの取組開始: H29		◆外商の推進によるプランド化の促進 ◆鏡地域全域での産業



# 削除項目(案)

# 【高知市地域】

	伍口	古業の恒西	古类子片	これまでの取得しば用	5H 85	<b>主</b> 大中原
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21		規格外の地元鮮魚を活用して食品加工を行い、弘化台ブランドとして販売していくことで、水産物の消費拡大を図る。	・(株)かつら	アクションブランの取組開始: H25・加工設備の整備(H25)・名種許可の取得(H25)・主力商品の完成(H25)・医療機関や介護施設に対する業務用食材としての販路開拓(H26)・(株)永邦水産から(株)かつらに社名変更(H27.9月)◆各関係機関からアドバイスを受け、主力となる商品が完成したことで、本格的な商談を開始し、契約実績ができてきた。	<ul><li>・安定した売上のための 商品づくり</li><li>・販路拡大</li></ul>	◆地元鮮魚を活用した 食品加工 ◆販路拡大・販売促進



削除

	第3期	計画		1100 N R	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					食品加工品の売上高	1.5億円
地元鮮魚を活用した食品加					食品加工品の売上高 (H23:0円) (H26:0.9億円)	İ
		した商品の製造、量販店とタイプ				
販路拡大・販売促進						
J.		<ul><li>・商談会への参加及び新商品の</li></ul>				



削除

# 【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
	生産安定のための基本技術 の習得と温暖化に対応した対 策を行うとともに、針木産新高 製のブランド「まるはり」を強 化し、農家所得の向上を図 る。	·JA高知市 ·針木梨組合	アクションブランの取組開始:H21 ・高付加価値販売、加工品の開発、 販売(H21~27) ・高温障害等対策(H21~27) ・カラス対策協議会の設置(H23) ・鳥獣害対策の実践(H24~27) ・パッケージデザインの統一、商標 の取得(H24) ◆高収量、高品質化等の対策が進 んだ。		◆産地計画の見直し及び実践
					◆地球温暖化に対応した栽培技術の確立
修正前					◆産地ブランドの強化



	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5		生産安定のための基本技術 の習得と温暖化に対応した対 策を行うとともに、針木産新高 梨のブランド「まるはり」を強 化し、農家所得の向上を図 る。	・JA高知市 ・針木梨組合	アクションプランの取組開始: H21・高付加価値販売、加工品の開発、販売(H21~28)・高温障害等対策(H21~28)・カラス対策協議会の設置(H23)・鳥獣害対策の実践(H24~28)・パッケージデザインの統一、商標の取得(H24)◆高収量、高品質化等の対策が進んだ。	・針木産新高梨「まるは り」プランドをPRする流 通・販売対策 ・温暖化による収量の減 少	◆産地計画の見直し及び実践
						◆地球温暖化に対応した栽培技術の確立
	修正後					◆産地ブランドの強化

	第3期	<b>制計画</b>			指標及	び目標
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					生産量	H31年産:400t
産地計画の見直し及び実践	l E				(H23年産:500t) (H27年産:320t)	
······	(			<u> </u>		
産地計画の見直し		実践(加工品の開発)	及び改良等)			
~				T		
d = 5 x22 x2 x x x 1 d = 5 x 2 d = 5 d = 5	14.05 - 74.4					
地球温暖化に対応した栽培	請技術の催立 └───────────			L		
	高温対策	策、干ばつ対策等の実証及び普	Д			
産地ブランドの強化						
		共同出荷体制の維持強化				
S						



	第3期	計画			指標及	なび目標
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					生産量 (H23年産:500t)	H31年産:400t
産地計画の見直し及び実践					(H23年度: 300t) (H27年産: 320t)	
産地計画の見直し		実践 <u>(品種の選定、</u>	担い手の確保等)			
地球温暖化に対応した栽培技	技術の確立					
	高温対策	、干ばつ対策等の実証及び普及	<b>উ</b>			
·						
産地ブランドの強化						
		共同出荷体制の維持強化				
<u> </u>						

# 【高知市地域】

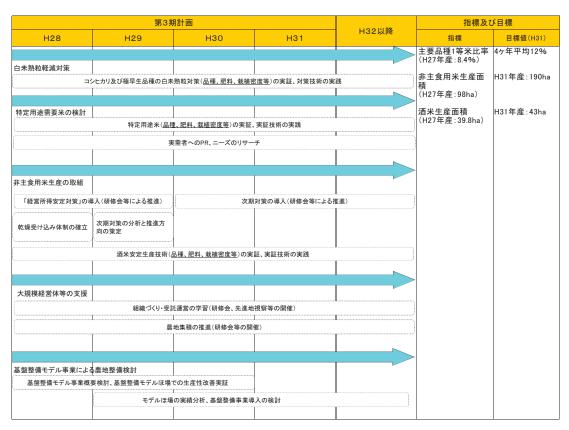
E 11-	3 74 (1) 26 28 7	1				
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
6	きる米産地の振興		・JA高知市 ・JA高知市稲作部 会	・各種調査ほの設置、講習会、現地検討会等の実施(H21~27) サリルー出荷体制(南国モだちナナッとカリ)が確立し、集荷量もほぼ目標とする水準を維持している。	・多様なニーズに対応した米づくり ・水田経営の合理化を 目光・地区戦略の推 進 ・水田フル活用を促進 する耕作環境の改善	◆白未熟粒軽減対策 ◆特定用途需要米の 検討
	修正前					◆非主食用米生産の 取組
						◆大規模経営体等の 支援
						◆基盤整備モデル事 業による農地整備検 討



N II-	174111125427					
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
6	時代のニーズに対応できる米産地の振興	栽培技術や耕作環境の改善により所得向上を図ることで、永稀的な稲作経営を定着させる。	・JA高知市 ・JA高知市稲作部 会	アクションプランの取組開始: H21・乾燥機等の整備 (H21~25)・乾燥機等の整備 (H21~25)・ 大きを種調をは、調智会、現地検討会等の実施 (H21~28) ◆リレー出布体制 (両国そだちナッヒカリーコシヒカリ)が確立し、集荷量もほぼ目標とする水準を維持している。◆無人防除へり1機の導入により、効果的な防除体制が整備された(H26)。	・多様なニーズに対応した米づくり ・水田経営の合理化を 目指した地区戦略の推進 ・水田フル活用を促進 する耕作環境の改善	◆白未熟粒軽減対策 ◆特定用途需要米の 検討
	修正後					◆非主食用米生産の 取組
						◆大規模経営体等の 支援
						◆基盤整備モデル事 業による農地整備検 討

	第3期	計画			指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	- H32以降	指標	目標値(H31)	
					主要品種1等米比率 (H27年産:8.4%)	4ヶ年平均12%	
白未熟粒軽減対策							
コシヒカリ及	なび極早生品種の白未熟粒対策	(品種、作型、肥料、栽植密度	(、苗質改善等)の実証、対策	技術の実践	非主食用米生産面 積	H31年産:190ha	
					(H27年産:98ha)		
					酒米生産面積 (H27年産: 39.8ha)	H31年産:43ha	
特定用途需要米の検討							
17亿币应而安木07块的	特定用途米(品種、作型、	肥料、栽植密度、苗質改善等)	の実証、実証技術の実践	.1			
<u> </u>	J			T			
	<b>美</b>	需者へのPR、ニーズのリサー	チ 	T			
非主食用米生産の取組							
·		(					
「経営所得安定対策」の	導入(研修会等による推進)	次期	対策の導入(研修会等による	推進)			
乾燥受け込み体制の確立	次期対策の分析と推進方向 の策定						
	酒米安定生産技術(品種、作品)	型、肥料、栽植密度、苗質改善	等)の実証、実証技術の実践				
大規模経営体等の支援							
八,从 庆社 古	組織づ/U. 異常	運営の学習(研修会、先進地	担変生の関係)	I			
(				I			
	農	地集積の推進(研修会等の開作	崔)				
基盤整備モデル事業による							
	る展地登/// (根) 要検討、基盤整備モデルほ場で	の 生産性改善 実証					
			1 01051	I			
	モデルほ場	の実績分析、基盤整備事業導	人の検討				
				1			





# 【高知市地域】

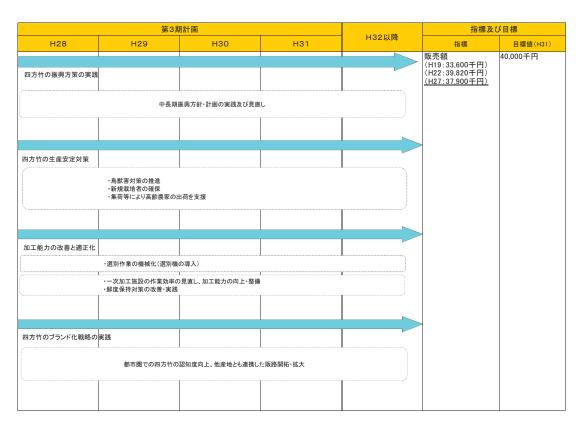
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9	る中山間地域の振興	として振興するため、加工施設の整備等により、生産と地域加工の促進を図る。	・JA高知市特産部 会 (七ッ渕筍加工組	アクションプランの取組開始:H21 ・製氷機の導入(H22) ・冷水機の導入(H24) ・原路開拓(H22~27) ・高知市四方竹振興計画の策定 (H25) ・放棄園及び園地マップの個票整理(H25) ・四方竹加工施設の整備(H25~26) ・選別作業の機械化に関する検討 (H25~27) ◆商品性のアップを目指し、消費 期限の延長や調理済み加工品の 開発に取り組み、高級量販店への 真空パック商品の販売が開始されるなど、販路拡大の動きも具体化している。 ◆加工施設の整備等により作業能 力が向上し、出荷量が増加。 販売額 H22:39,820千円→H26:41,530千円	・加工能力の増強および 適正化 ・特産品としての魅力 アップ ・中山間地域農業の6次 産業化モデルへの挑戦 ・鳥獣害(イノシシ)による被害増 ・高齢化による園地の管理・収穫作業不足	◆四方竹の振興方策 の実践 ◆四方竹の生産安定 →四方竹の生産安定 対策 ◆加工能力の改善と過 正化
	修正前					◆四方竹のブランド化 戦略の実践
						戦略の実践



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 四方竹のブランド化る中山間地域の振り		・JA高知市特産部会 (七ッ渕筍加工組	アウションブランの取組開始: H21・製水機の導入 (H22)・冷水機の導入 (H24)・販路開拓 (H25)・高知市四方竹振興計画の策定 (H25)・選別作業の機械化に関する検討 (H25~26)・選別作業の機械化に関する検討 (H25~26)・選別作業の機械化に関する検討 (H25~26)・選別作業の機械とは関する検討 (H25~26)・選別作業の機大に取り着および導入後の改善 (H28)本自動と関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・加工能力の増強および適正化 ・特産品としての魅力 アップ ・中山間地域農業の6次産業化モデルへの挑戦 ・鳥獣書(イノシシ)による被害増 ・高齢化による園地の管理・収穫作業不足	◆四方竹の振興方策の実践  ◆四方竹の生産を安定  ◆四方竹の生産を安定  ◆加工能力の改善  ◆加工能力の改善  ・ では、

	第3期	計画		1100 N F/7	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					販売額 (H19:33,600千円)	40,000千円
四方竹の振興方策の実践	ŧ				(H22:39,820千円)	
					(H27見込:37,000千円)	
	中長期排	最興方針・計画の実践及び見直し			1 17	
	7 1279112	(共力計 計画の失成及の元直の				
9方竹の生産安定対策						
	<ul><li>・鳥獣害対策の推進</li><li>・新規栽培者の確保</li></ul>					
	<ul><li>集荷等により高齢農家の出</li></ul>	荷を支援		)		
·				/		
ロエ能力の改善と適正化						
	<ul><li>選別作業の機械化(選別機の</li></ul>	D道え)				
	T					
	<ul><li>一次加工施設の作業効率の</li><li>・鮮度保持対策の改善・実践</li></ul>	見直し、加工能力の向上・整備				
9方竹のブランド化戦略の	実践					
	都市圏での四方竹の	認知度向上、他産地とも連携したり	<b>阪路開拓・拡大</b>			
	T					
					1	1





# 【高知市地域】

	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13	伝統作物の復活と関連産 業の振興	「牧野野菜」を中心に、伝統 野菜の生産拡大と業務・加工需要を含む版路を開物可 ることにより、伝統作所得があ ランド化と生産者、伝統的所得の加工品の復活や新たな加工品の復活や新たな加工生産 と開発する。例で流拡大や生産地域 観光への活用を目指す。	•Team Makino	アクションブランの取組開始: H28		◆推進体制の確立
						◆生産拡大
	修正前					◆販売拡大
						◆加工品開発



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
伝統作物の復活と関連産 業の振興		•Team Makino	アクションブランの取組開始: H28 - 「Team Makino J組織化(H28) - 新規生産者の開拓と栽培指導 (H28) - 佐統作物のPR活動(H28) - 加工品の試作・販売(H28) ◆「伝統作物をミナー・商談会」等 を通じて、学教野野東注含めた伝統作物の知名度は上がりつつあ 会。	・生産者および栽培面積 の拡大 ・販路に合わせた重点栽培品目の絞り込み ・加工品の試作に見合う機械・器具の不足	

	第3期	明計画	LLO O IN ER		指標及	<b>東及び目標</b>	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
					販売額	9,000千円	
推進体制の確立					(H27:0円)		
Team Makino組織体制の 整備	「下知ねぎ」生産農家の組 織化	Team Makino組織体制の 強化			品目数·面積 (H27:0品目·0a)	10品目・150a(累計)	
推進ビジョンの策定	/	推進ビジョンの改訂			加工品数 (H27:0品目)	7品目(累計)	
正進こプログスだ							
生産拡大							
連携農家	マ 等の拡大	連携農家等の拡大と組織化					
	栽培・採種技術等の実証		採種技術・種子管理体制 の確立				
販売拡大							
ロゴ・商品説明リーフレット 作成	商品説明リー	一フレット改訂	「牧野野菜図譜」(仮称)の 作成				
	L	商談会等への参加	l				
交流活動の試行	交流活動・地域観光の試行	交流活動・観光の受入体制確立					
	\	\					
加工品開発							
		漬物類					
		漬物類	菓子類				



第3期計画				1 1 0 0 11 TA	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					販売額 (H27:0円)	9,000千円
推進体制の確立	,				品目数·面積	10品目・150a(
Team Makino組織体制の 整備	s制の <u>Team Makino組織体制の強化</u>				(H27:0品目·0a)	計)
					加工品数 (H27:0品目)	7品目(累計)
推進ビジョンの策定		推進ビジョンの改訂			(H27:U前日)	
生産拡大						
連携農家等の拡大連携農家等の拡大と組		連携農家等の拡大と組織化				
		<u> </u>	·			
栽培・採種技術等の実証		採種技術・種子管理体制 の確立				
販売拡大		<u> </u>	(Z			
ロゴ・商品説明リーフレット 作成 商品説明リーフレット改訂		「牧野野菜図譜」(仮称)の 作成				
I		商談会等への参加				
		DINAY WY	Г			
交流活動の試行	交流活動・地域観光の試行	交流活動・観光の受入体制確立				
加工品開発						
\		漬物類				
			菓子類			

# 【高知市地域】

	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28	光の振興	高め、県外に情報発信するとともに、歴史、文化、町並みや食などを活用した「まちり場合などを充実させることにより県内外からの観光客の誘客に	・(公社)高知市観光 協会 ・特定非営利活動 法人土佐観光ガイ ドボランティア協会	アクションブランの取組開始: H21・ ・龍馬の生まれたまち記念館のパンプレット作成及び展示物の外国 語ガイド開始(H22) ◆土佐っ歩はH23.4月からコースを リニューアルして参加者のニーズ に対応したコースとなり、また、高 知市郊外を巡る「土佐勤王党コー ス」及び「長宗我部コース」を設定 する等魅力が向上している。	・まち歩きの更なる魅力 向上と団体客の確保 ・土佐の偉人関連施設 の整備充実とルート化	◆「龍馬の生まれたまち歩き〜土佐っ歩〜」 の魅力向上
				・瑞山記念館のリニューアル(H22)・瑞山記念館来館者用のトイレを整備(H25)・長宗我部関連マップの作成、配布(H22~27)・ 会計・半平太旧宅と墓周辺の観光資源の磨き上げを行ったことにより、県内外からの観光客から好評を得ている。また、長宗我部関連イベントも定着しつつある。 全龍馬生誕180年という節目を活		◆土佐の偉人関連イベントの充実
				◆ルル・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・		◆歴史を中心とした博 覧会への対応
	修正前					◆土佐の偉人ゆかりの 地の魅力向上



	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28	土佐の偉人を活かした観 光の振興	坂本龍馬をはじめとする土佐 の偉人ゆかりの地の魅力を 高め、県外に情報発信すると ともに、歴史、文化、町並み や食などを活用した「まち歩 身」を充実させることにより県 内外からの観光客の誘客に つなげる。	•(公社)高知市観光	アクションプランの取組開始: H21・龍馬の生まれたまち記念館のパンプレット作成及び展示物の外国語ガイド開始(H22) ◆土佐っ歩はH234月からコースをリニューアル1245以また、高知市郊外を巡る「土佐勤王党コース」及び「長宗我都コース」を設定する等魅力が向上している。	・まち歩きの更なる魅力 向上と団体客の確保 ・土佐の偉人関連施設 の <u>磨き上げ</u> とルート化	◆「龍馬の生まれたまち歩き〜土佐っ歩〜」 の魅力向上
				・瑞山記念館のリニューアル(H22) ・瑞山記念館来館者用のトイレを整備(H25) ・長宗我部関連マップの作成、配布(H22~28) ◆武市半平太旧宅と墓周辺の観光資源の磨き上げを行ったことにより、県内外からの観光浴のあり評を得ている。また、長宗我部関連イベントも定着しつつある。		◆土佐の偉人関連イベントの充実
				◆離馬生經180年という節目を活かした各種記念事業の実施により、県内外より多くの観光客及び龍馬ファンが訪れ、龍馬のふるさと高知のPRを図ることができた。		◆歴史を中心とした博 覧会への対応
	修正後					◆土佐の偉人ゆかりの 地の魅力向上

